

里地・里山だより

活動報告号
2021 春発行
里山フォーラム in 麻生
川崎市麻生区万福寺 1-5-2
麻生市民館気付け

- もくじ P1 第15回わたしのまちのホッとする風景写真展から
 P2 P3 “2021 里山フォーラム in 麻生” トークリレー
 P4 里地里山ナチュラリスト養成講座
 P5 P6 あさお里山こどもクラブ、里地里山カフェ塾

第15回 わたしのまちのホッとする風景写真展（今編、昔編）から

コロナ禍で外出もままならぬ中はたして写真の応募はあるだろうか、展示を見に来てくれるかな、という心配をよそに119点もの写真が寄せられました。いつになく身近な風景や今年の様相を捉えた写真の数々です。麻生のまちの記憶として共有していこうと麻生市民館オープンギャラリーで令和3年2月11日～3月10日まで展示しました。9:00～20:00の折々に一枚一枚じっくり見て、読んで行く方々がいました。 《受賞作品の紹介》



麻生区長賞 伊藤幸二
「うれしい収穫」(古沢)



麻生市民館長賞 鈴木孜
「かわいいカップル」(虹ヶ丘)



里山フォーラム賞 白井俊彦
「ひと休み」(三輪)



ホッと賞 阿部聖二
「いつもの散歩道その3」(細山)



ホッと賞 真下智彦
「里山の実り」(黒川)



ホッと賞 島田俊幸
「今年も咲いた」(白山)



ホッと賞 野中浩一
「メタセコイアと花粉光環」
(岡上和光大学)



特別賞 鈴木秀雄
「西生田小学校昭和39年」
8枚のうち一部紹介



コメント賞 高橋靖
後方の羅漢さんのつぶやき。
「やれやれ、設定は面倒じゃのう」「さてさて、上手く行けば良いがのう」

令和2年度は、集まることや交流することが困難な中で、状況を把握しつつ、逡巡を繰り返しながら、麻生市民館の利用に関するガイドラインに沿って、感染防止対策を十分に取って“2021 里山フォーラム in 麻生”を開催しました。定員を60名に絞り、申込制で参加者には予め健康チェックカードを記入していただくことにしました。

これまでの小学生の発表、自然のものをを使ったワークショップ、障がい者施設の皆さんによるティータイム、小グループ討議などができません。でも土と水と光にはぐくまれる「いのち」を大切にする人々が、あらたなつながりを見出そうと **3月21日（日）午後 麻生市民館大会議室**でフォーラムを開催しました。

2021 里山フォーラム in 麻生（第20回）

ーみどりを守る・環境を守る・いのちをはぐくむー

プログラム

13:00 受付開始

一般 **名札 黄色**

団体 **名札 橙色 A**

名札 水色 B

名札 緑色 C

「フォーラム資料集 20」配布

展示見学 着席（座席の距離を保つ）

14:00 オープニング 柿生の山伏 高橋昂希
開会

● 来賓挨拶 麻生区長 多田貴栄

■ 第15回 わたしのまちのホッと風景
写真展 今編・昔編入賞発表 表彰

区長賞・麻生市民館長賞・里山フォーラム賞

14:20 ■ 基調のお話 堂前雅史（里山フォーラム in 麻生代表・和光大学教授）

14:40 ■ 展示団体によるトークリレー
「コミュニティを耕し、つなぐ」

16:25 ● 挨拶 麻生市民館長 野口聡

16:30 閉会 片付け 椅子と机を消毒
◎ 麻生の地元農産物紹介

入り口で検温、手指の消毒を済ませ、受付で名札を受取ります。展示を見学して、午後2時、山伏のほら貝の音で開会です。山伏はこのあと終了まで壇上で安心安全にと見守ってくれました。舞台上で、ご自身が作ったパーテーションの後ろで吹きます。その音色は場面によって吹き分けられます。



区長の多田貴栄さんのご挨拶

「里山フォーラムは区の里地里山保全推進事業であり、集い、交流しつなぐっていく場である。本日は発表、情報交換の場として頂きたい。写真展からも豊かな自然と暮らしの数々を見せていただいた。まちに対する思い、自然を大切にしたい気持ちが、美しく輝くまち麻生を作っている。皆様の活動の賜であって御礼申し上げます。このような活動がつながり、輪が広がっていくようにと願う。」



堂前雅史さんの
基調のお話



「新型コロナウイルスから考える人と環境」をテーマにパワーポイントを使用しながら講演していただいた。

「人間の定住生活、都市での密集生活が感染症を登場させ、加速させている。人と自然環境の関係が変わったときに新感染症が起こる可能性がある。文明は「自然」と人間社会を切り離したと思っていたのではない。環境や自然と切り離せない一部として人間の健康を考える必要がある。ひとつながりの健康 onehealth である。日本の制度では様々な分野が別々であるが、全てがいっしょに交流、議論する場が必要だ。多くの社会問題を onehealth あるいは SDGs としてトータルに考える場として里山フォーラムの重要性は高まっている。」



トークリレーは事前に撮影しておいたパネルを投影しながら発表しました。演台は透明なパーテーションで囲まれマイクは一回ごとに消毒しました。大まかなグループ毎の発表順でつながっていきます。活動を通して「コミュニティを耕し、つなぐ」というテーマが浮かび上がってきました。



*かわさきかえるプロジェクト
*グループ「せっけんの家」
*麻生区クールアース推進委員会
*環境を考え行動する会
*あさお生きごみ隊
*花と市民参加の会コスモス

発表者の方々 一部紹介



*があでん・ららら
*はぐるま工房
*麻生プレーパークを創る会
*ふらっと新百合ヶ丘
*和光大学地域連携研究センター
*麻生ヤマユリ植栽普及会
*麻生市民館岡上分館
*万福寺人参友の会
*里山フォーラム in 麻生から

パネルは3月11日から10日間事前展示行い、皆さんに見ていただきました。(こちらの一部を紹介します)



*麻生多摩美の森の会
*多摩美みどりの会
*和光大学かわ道楽
*NPO かわさき自然と共生の会
*早野聖地公園里山ボランティア
*森もりクラブ
*水辺のある里山を守る会
*はるひ野里山学校
*柿生の里クラブ
*まちはミュージアム-遊歩道ファンクラブ

紙面では一部の紹介しかできません。詳細を収めたDVDを作成しています。ご希望の方は連絡下さい。

「フォーラム資料集 第20号」は ①小学校の頁 ②団体その1 ③団体その2 の三分冊となりました。どのページからも活動や言葉に託した重さが伝わってきます。区役所ホームページにも掲載されますのでどうぞご覧ください。

資料集参加、パネル参加、の団体

*麻生区子ども会連合会 *小沢城址里山の会 *岡上に親しむ会(郷土誌会) *花だん☆岡上 *かながわトラストみどり財団 *川崎授産学園 *黒川青少年野外活動センター *黒川里楽塾 *木こりの会 *長沢はなみずき会 *虹ヶ丘おやじの会 *ふらっと新百合ヶ丘 *川崎市環境局環境調整課

☆ボランティアスタッフ、実行委員、幹事の皆さんそれぞれの力合わせでフォーラムや写真展を開催できたことに感謝します。

佐藤勲・石井信・雛倉正人・高部智明・藤原美子・矢野敬二・中島和夫・小田桐浩・田中肇 [地元の農産物協力] 井上いづみ [炭の協力など] 早野聖地公園里山ボランティアの皆さん 堂前雅史・中谷一郎・山崎優・岡本剛介・小穴誠・宮河悦子 高部由美子・板倉栄治・長谷部淳・小松英子・石井よし子
◎ 麻生市民館の皆様には担当職員(西倉美幸さん)を始め、年間を通して大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。